

**新型コロナウイルス対応緊急支援助成  
事業計画（実行団体）**

事業名(主)	(仮称) 人吉マンガ図書館を作り復興支援
事業名(副) ※任意	マンガ整理で、障がい者の自立支援

入力数 主 19 字 副 16 字

実行団体名	特定非営利活動法人熊本マンガミュージアムプロジェクト
資金分配団体名	公益財団法人佐賀未来創造基金

**優先的に解決すべき社会の諸課題**

領域	分野
<input type="checkbox"/> 1) 子ども及び若者の支援に係る活動	<input type="checkbox"/> ①経済的困窮など、家庭内に課題を抱える子どもの支援
	<input type="checkbox"/> ②日常生活や成長に困難を抱える子どもと若者の育成支援
	<input type="checkbox"/> ③社会的課題の解決を担う若者の能力開発支援
<input checked="" type="checkbox"/> 2) 日常生活又は社会生活を営む上での困難を有する者の支援に係る活動	<input checked="" type="checkbox"/> ④働くことが困難な人への支援
	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤社会的孤立や差別の解消に向けた支援
<input checked="" type="checkbox"/> 3) 地域社会における活力の低下その他の社会的に困難な状況に直面している地域の支援に係る活動	<input checked="" type="checkbox"/> ⑥地域の働く場づくりの支援
	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦安心・安全に暮らせるコミュニティづくりへの支援

上記以外 その他の解決すべき社会の課題	<input checked="" type="checkbox"/> 令和2年7月豪雨被害にあった人吉市の復興・街中再生と賑わい創出の一助
------------------------	--

入力数 34 字

**SDGsとの関連**

<b>ゴール</b>
_1.貧困をなくそう
_8.働きがいも経済成長も
_11.住み続けられるまちづくりを
_17.パートナーシップで目標を達成しよう

実施時期	2021年 3月 ~ 2022年 2月	事業 対象地域	全国 <input type="checkbox"/> 特定地域 <input checked="" type="checkbox"/> (熊本県人吉市・合志市)	事業対象者： (事業で直接介入する対象者と、その他最終受益者を含む)	熊本県人吉市 まち・ひと・しごと総合交流館 熊本県在住の障がい者	事業 対象者人数	来場者：7, 500人 作業者：7人
------	---------------------	------------	--	---------------------------------------	-------------------------------------	-------------	-----------------------

**I. 団体の社会的役割**

<b>(1)申請団体の目的</b>
特定非営利活動法人熊本マンガミュージアムプロジェクトは2011年10月設立。熊本県内においてマンガを素材として地域振興を目指してきました。2017年7月、合志マンガミュージアムをオープン。1年間で来場3万人突破し、合志市への観光誘致と地域活性化に貢献しました。このノウハウを活かし令和2年7月豪雨被害にあった人吉市へ（仮称）人吉マンガ図書館を作ります。来場目標は7, 500人を予定します。
<b>(2)申請団体の概要・事業内容等</b>
特定非営利活動法人熊本マンガミュージアムプロジェクトは2011年10月設立。マンガ図書館設立により、熊本県内において地域振興・観光誘致を目指してきました。2017年7月、歴史資料館を改装して合志マンガミュージアムをオープン。合志マンガミュージアムをハブ施設として、現在くまもと松尾西小学校跡地にマンガ館設立など、マンガをツールに地域活性化を図っております。現在寄贈本を含め10万冊保管しております。

入力数 (1) 194 字 (2) 199 字

**II. 事業の背景・社会課題**

<b>新型コロナウイルス感染症により深刻化した社会課題</b>
人吉市へ災害復興支援として今回マンガ図書館オープンを企画したのは、被災前から人吉市は「夏目友人帳」ゆかりの地としてアニメツーリズムの聖地であり、コロナ禍に会う前の2016年にはインバウンドの聖地巡礼先として1位となった過去もあることから、人吉市民や周辺住民の娯楽施設としての被災地復興の手段と同時に国内外の観光誘致の起爆剤の一つになると判断しました。熊本マンガミュージアムプロジェクトは合志市にマンガ蔵書10万冊がありますが、現在整理整頓作業をボランティアに頼っており、人吉市復興への迅速な対応が難しい状況です。そこで今回の休眠預金活用にて、整理整頓・リスト化・正本・複本化・発送作業を株式会社ぞうさんのはなに委託し迅速な復興支援に協力したいと存じます。株式会社ぞうさんのはなは合志市に障がい者を雇用する特例会社として2013年10月に設立。昨今、NHKニュース（2020年11月14日）によると、新型コロナウイルスの感染拡大で、企業などを解雇された障がい者は2020年9月の半年間でおよそ1200人と、昨年同時期とくらべ40%増えたと厚生労働省のまとめでわかりました。厚生労働省は「新型コロナウイルスの感染拡大でテレワークが広がり職場への出社が必要な事務職などの仕事が減っていて障害のある人がその影響を受けている。障がい者が働くことができる新たな仕事を創出することが課題」と発表しています。他の企業の障がい者雇用枠の方の離職、また現在職を持たない障がい者への雇用確保を目的に、まずは人吉市まち・ひと・しごと総合交流館への発送を優先し、その後に要望があります地獄温泉青風荘（南阿蘇村・2016年熊本地震被災）2000冊、大牟田マンガ図書館（大牟田市・2020年大牟田水害）1000冊へ委託・発送手続き支援を障がい者の業務として新たに実施する原資として申請させていただきます。

入力数 786 字

### III.事業内容

(1)事業の概要
令和2年7月豪雨被害にあった人吉市への復興として、人吉市まち・ひと・くらし総合交流館へマンガ図書室を設立し、中心市街地の復旧・復興と併せ街並み再生と賑わい創出に貢献したいと思えます。マンガ10万冊の内5000冊の整理整頓・リスト化、正本・複本化についてはコロナ雇止め等雇用が不安定な障がい者の方へ雇用を提供し、人吉市への発送の後、寄託できる本については九州一円の希望した施設（南阿蘇村 地獄温泉青風荘・大牟田市 大牟田マンガ図書室・南関市セキアマンガ図書室・唐津市少女まんが館Saga）へ寄託の発送を行い、新型コロナウイルス感染拡大の為遠方へ外出できない方々へ娯楽を提供したいと存じます。

入力数 294 字

(2)事業実施後（1年後）以降に目標とする状態
人吉市 まち・ひと・くらし総合交流館へマンガミュージアム設立（3千冊）後は、九州一円で希望された施設（南阿蘇村2000冊・大牟田市1000冊・水上村500冊・南関市3000冊、唐津市冊数未定）へのマンガ寄託事業を行いマンガを通じた地域コミュニティの構築を実施する。その作業を円滑に行うための整理整頓・リスト化・正本・複本化を障がい者への仕事とし、障がい者への雇用確保・働き甲斐を提供します。

入力数 195 字

(3)今回の事業実施で達成される状態（アウトプット）	実施・到達状況の目安とする指標	把握方法	目標値/目標状態	目標達成時期
人吉市にマンガミュージアム設立（3,000冊規模）10万冊のうち5,000冊の整理整頓・リスト化・正本・副本化	整理整頓5,000冊 リスト化3,000冊 発送 3,000冊	整理整頓リストにより把握 日毎・週毎のチェックリストにより把握 月1回の実査により状況把握	マンガ5,000冊の整理整頓 マンガ3,000冊の発送	2020/2/1

(4)活動	時期
・蔵書10万冊のマンガの整理整頓	2021年3月～2022年2月
・マンガのリスト化	2021年3月～2022年2月
・アーカイブ保存用の正本・複本	2021年3月～2022年2月
・余剰マンガのリスト化（寄託用マンガ）	2021年9月～2022年2月
・人吉市役所と人吉市 まち・ひと・くらし総合交流館へマンガ図書館オープンの諸手続き	2021年9月～2022年2月
・人吉市 まち・ひと・くらし総合交流館への発送手続き・梱包	2021年9月～2022年2月
・寄託先の選定	2021年9月～2022年2月
・寄託先への発送手続き・梱包	2021年9月～2022年2月

### IV.事業実施体制

(1)メンバー構成と各メンバーの役割	特定非営利法人熊本マンガミュージアム：蔵書10万冊の一部を提供・寄託先の候補選定・障がい者雇用企業の委託先 株式会社ぞうさんのほな：蔵書の整理整頓・リスト化・正本・複本化・発送作業業務 受託先。障がい者雇用企業の受託先。 人吉市役所：人吉市 まち・ひと・くらし総合交流館においてマンガミュージアムの設立支援 合志市役所：コロナ雇止め等で現在職を持たない、雇用を希望する障がい者の斡旋
(2)他団体との連携体制	合志市・熊本市：コロナ雇止め等で職を失った障がい者の方や、現在職を持たない障がい者の雇用斡旋
(3)想定されるリスクと管理体制	他企業を雇止めにあつた障がい者や現在職を持たない障がい者を新規に雇用する目的だが、募集人員に達しなかった場合の募集体制

### V.関連する主な実績

(1)休眠預金以外の助成・補助金活用の有無			
新型コロナウイルス感染症に係る事業			
①本申請事業について、新型コロナウイルス感染症に係る助成金や寄付等を受け活動を実施している(予定も含む)	有 <input type="checkbox"/>	無 <input checked="" type="checkbox"/>	有の場合 その詳細
②本申請事業について、国又は地方公共団体から補助金又は貸付金（ふるさと納税を財源とする資金提供を含む）を受けていない	無 <input checked="" type="checkbox"/>	※有の場合、選定の対象外となります（公募要領：助成方針参照）	

(2)申請事業に関連する調査研究、連携の実績
特定非営利法人熊本マンガミュージアムプロジェクトの副代表 鈴木寛之は 熊本大学 文学部 コミュニケーション情報学科 現代文化資源学コース（民俗学・マンガ文化研究）准教授であり、今回の申請に伴う人吉マンガミュージアム設立による被災地への復興支援と観光資源としてマンガが貢献する実績を、合志マンガミュージアム設立時（人口6万人に対し年間50人来場の郷土歴史資料館から、600倍の年間3万人来場。市人口の50%相当）との比較モニタリングする予定です。人吉市人口3万人、オープンして半年として試算すると7,500人の来場予測となります。 さらに、大学コンソーシアム熊本 に加盟している3大学（熊本大学文学部・尚絅大学現代文化学部・崇城大学芸術学部）にて、「球磨川流域の各地の復興支援、文化振興においてマンガがどのような貢献ができるか」という地域研究を共同で行います。